

日本海沖メタンハイドレート調査促進事業に対する附帯意見

石油など従来型の化石燃料の枯渇の懸念や環境破壊の問題から、再生可能エネルギーなど新たな代替エネルギーへの転換が叫ばれている。

その中でも、メタンハイドレートは、豊富とされる資源量と石油・石炭に比べた二酸化炭素排出量の少なさから日本のみならず、世界が次世代のエネルギーとして注目している。

このたび、他県に先駆けて、本県でメタンハイドレートに係る専門的人材の育成に取り組もうとしている。

いうまでもなくエネルギー政策は国の将来を左右する重要課題であるが、メタンハイドレートの開発調査や実用化に直結する研究を進めるために、調査研究の機能や開発技術等を地方に分担させるとともに、十分な予算を確保するよう国に強く働きかけ、研究成果を地域に還元できるシステムの構築に努めること。